

提出日： 2026 年 7 月 1 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
経済	教授	赤羽淳

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2025年4月 1日 ～ 2026年3月31日	1
	2. 2025年9月 1日 ～ 2026年8月31日	
	3. 2025年4月 1日 ～ 2025年9月20日	
	4. 2025年9月21日 ～ 2026年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	米国スタンフォード大学アジア太平洋研究センターにて、客員研究員として研究活動を実施した。主にデスクリサーチ、図書館などでの資料収集、現地企業へのインタビューなどを通じて、経済安全保障時代における企業戦略の主要企業のケーススタディを実施した。なお、ケーススタディは日米に関係する自動車と半導体を先行させ、台湾、中国にかかる部分は 2026 年度に行うことにした。	
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。	
	上記活動を通じて、「経済安全保障時代における主要企業の経営戦略分析」のうち、自動車と半導体産業にかかる部分については、情報がある程度収集し、分析を行うことができた。そして、以下の二点の成果をあげることができた。 Japan's Economic Security and the Semiconductor Industry Jun Akabane, Stanford University APARC Japan Program Seminar 2026 年 3 月 4 日 Japan's Economic Security and the Semiconductor Industry Jun Akabane Stanford University APARC Working Paper 1-26 2026 年 4 月	
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。	
	2026 年度は台湾の中華経済研究院の訪問学者として、引き続き残りの台湾、中国の主要企業の経営戦略分析を実施している。 また 2025 年度の研究成果をもとに、2026 年度 6 月に産業学会にて、「日本の経済安全保障と半導体産業復興戦略-ラピダスのレゾナードトル」というタイトルで学会発表を行い、同報告をもとにした論文を「産業学会研究年報」に投稿する計画である。	